



発行所  
岡崎市立葵中学校  
(電話 21-0171)  
(FAX 21-0172)

7月号



## 成長への道

校長 柴田 昌一

三年生にとっては、最後の部活の大会が始まりました。私も応援でさまざまな会場を回りましたが、心に残る試合があります。

それは、男子バスケットボール部の試合でした。昨年、県大会まで進出し勝てると思って臨んだ試合で、最後の最後まで残り0秒の三点シュートで追いつかれ、延長の末に敗北しました。選手そしてチームの皆さんはとてつづらかったでしょう。

しかし、私は選手たちが見せた闘志と団結力に深い感銘を受けました。怪我や体調不良でメンバーを欠く中、選手の皆さんが試合中に示した姿勢はすばらしいものでした。選手同士がアイコンタクトや仕草、声などで励まし合

い、作戦を確認し合い、気持ちを盛り上げようとしていたこと、最後の一秒まで諦めず、全力で戦い抜いたことに胸が熱くなりました。

この経験は、勝利以上のものを与えてくれます。挫折から学び、成長する機会です。「あの時こうすればよかった」「もっとできたのに」と思い返して悔やむこともあるでしょう。スポーツは勝ち負けだけではありません。その中には人間の成長と魂の磨きがあり

ます。この経験が皆さんに与えたものは、貴重な宝です。それは皆さんが未来のどんな困難にも立ち向かえる力となるでしょう。

そして、もう一つ忘れてはならないのは、物事に絶対はないということ。常に謙虚さと柔軟性をもつことの大切さを教えられました。

私は皆さんがもつ才能と情熱を信じています。この経験を生きとし、さらなる高みを目指してください。勝敗は一瞬のもですが、成長と努力は一生の財産となります。今は悔しい気持ちが先立つかもしれませんが、次なる目標に向かって努力を続けましょう。人生にはまだまだたくさん挑戦とチャンスが待っています。この経験を通じて成長し、強くなつてほしいと思います。

試合やコンクールが続いている皆さん、自分たちの実力を信じ、仲間との絆を大切にしながら、最後まで全力を出し切ってください。勝ち負けだけではない、大きなものを得るためにも頑張りましょう。大会で輝く姿を楽しみにしています。

そして、新たなチームとして出発する一・二年生の皆さん、三年生から学んだことや感じたことを生かし、この先の目標に向かって進んでください。私は葵中のすべての生徒を応援しています。頑張ってください。

### ▲葵夏祭り

### ▲読み聞かせ

### ▲市長杯



### 協力し合った葵夏祭り

生徒会役員

今年は「他学年と多く関わりたい」という思いから、他学年の競技にも参加できる方法で葵夏祭りを開催しました。また、全校生徒に楽しんでもらえるように、生徒会役員で考え、新企画として級長企画を行うなど、いろいろ

どのクラス

も、短い期間の中、一生懸命準備をし、

当日は盛り上げる事ができました。葵夏祭りを通して、たくさん生徒の楽しんでる姿や、みんなで協力している姿がとてもよかったです。この行事で、葵の和が深まったと私は思います。

### 団結できた葵夏祭り

一年六組

私は最初、葵夏祭りを無事に行うことができたか不安でした。役割分担や

ローテーション決めで時間がかなり、上手く運営をすることができると不安でした。

しかし、迎えた本番

当日、学校に早く来て残った準備をしたり、直前にスムーズに行動したりして、無事楽しい葵夏祭りになることができました。

葵夏祭りで強くなった団結力を生かして、これからも楽しい思い出をつかっていきたいです。

### 最高の思い出

二年三組

楽しみにしていた葵夏祭り。僕はこの日のために、「エビバディアアップ」という二年級長企画を準備してきました。みんなに楽しんでもらえるような企画を考えたり、わかりやすいルール説明を考えて練習をしたりするのは大変でした。

当日は緊張しましたが、みんなが笑顔で楽しんでいるのを見て、僕はとてもうれしく、この日まで準備をしてきてよかったと思えました。

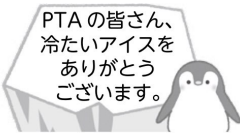
### 全校で作った葵夏祭り

三年二組

他学年との交流が可能になった葵夏祭り。私のクラスでは、ストップウォッチを十秒びつたりで止める「ストップウォッチ十秒チャレンジ」を行いました。受

付、呼び込みなど、それぞれの役割で協力し合う姿を見て、クラスの仲が深まるよかったです。

なりました。また、全学年が全力で楽しみ、一体となつて葵夏祭りを作り上げることができ、最高の思い出のページを増やすことができました。



### 修学旅行を終えて

三年三組

修学旅行の三日間を通して、私は多くのことを学ぶことができました。

一日目、横浜での班別研修では、電車に乗る際のマナーを改めて学び、また、多くの人に助けってもらった中で、人の優しさに触れることができました。

二日目の東京班別研修、学級別研修では、浅草寺を見学し、雷門の歴史を知ったり、常香炉の煙を浴びて体を清めたりするなど貴重な体験をすることができました。

三日目のデイズニderlandでは、仲間とアトラクションを楽しんだり、お土産を買ったりと、とても楽しく、思い出に残る時間を過ごすことができました。

三日間を通して、ルールや時間を守ること、仲間への思いやりをもって過ごすこと、自分の行動に責任をもつことなど、自律した行動をとることができました。そして学年のテーマである「開花」に一步近づくことができた最高の修学旅行にすることができました。

## 一学期を振り返って

### 一学期を終えて

一年四組

初めての制服にどきどきしながら何度も自分の姿を鏡の前でチェックした入学式の日から三か月経ちました。今では、すっかり見慣れた姿に、葵中生の一員になれたとうれしく思います。

中学校に入って初めての行事は海の学習でした。当日に向けて何日も前からみんなで考え計画し、楽しみにしていました。しかし当日は雨。地引網、ハイキング、キャンプファイヤー、全て中止になってしまいました。そんな中でもレクや

カードゲームを行い、砂の造形ではみんなで力を合わせて大作を作り上げたことは大切な思い出です。また、帰ってから何人かの生徒が虫にかまれて足や手、顔などが腫れ上がっている姿をお互いに笑いあったことも、忘れられない思い出です。

部活動も決まり、活動を始めました。二学期には体育大会や文化祭もあります。まだ葵中生にならたての私たちですが、新しいことに挑戦し、元気な葵中生を目指していきたいと思えます。

### 一学期を振り返って

二年二組

私はこの一学期を通して、初めての体験をたくさんしました。その中で特に印象深いものが三つあります。

一つ目は、日々の生活です。二年生になり、クラスが替わり、去年までとは違う毎日に少し戸惑ってしまいうこともありました。それでも、たくさんの人に支えてもらい、一つ一つのことに楽しんで取り組むことができました。

二つ目は、学校行事です。葵夏祭りでは、級長企画のレクを企画、運営したり、色々なクラスの人と交流したりすることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

三つ目は、部活動です。市長杯では、大きな会場でたくさんの人に囲まれながら、優勝を目指して戦いました。試合では、相手の思いに押されそうになりながらも、チーム一丸となつて戦い抜くことができました。先輩たちの熱い思いを引き継いで、来年こそは、優勝できるように頑張りたいです。

この一学期を通して学んださまざまなことを生かして、二学期からも、勉強や行事、部活動など全力で頑張っていきたいと思います。

### 一学期を振り返って

三年六組

憧れの三年生になって不安が胸がいつぱいだった四月。時は流れ、いよいよ明日からは夏休みとなりました。新しいクラスでの生活に緊張していたのを忘れてしまうほど、私はこの一学期の間にたくさん成長し、たくさんの改善点を見つことができました。

まず、成長できたことは学習についてです。私はこの一学期、わからないところをわからないままにしないということに意識して学習に取り組んできました。そのおかげで、期末テストで目標の点数をとることができました。これは私だけの力ではなく、快くわからないところを質問したときに教えてくれた先生や友達のおかげだと思っています。その方たちには感謝の気持ちでいっぱいです。

そして改善したい点は、授業と放課のめりはりの付け方です。放課の雰囲気のまま授業を受けてしまい、先生の話の聞けなかつたり、授業に集中できなかったりすることがあります。二

学期には、自分が意識することはもちろん、クラス全体でも意識できるように呼びかけていきたいです。

明日からの夏休み、私は今の自分に何が足りないのかよく理解し、夏休みが終わったときに、成長できたと思うことができるよう過ごしていきたいです。

### あおいMAXを終えて

#### 生活信条の意味とは

生徒会役員

コロナ禍で行えずにいた全校でのあおいMAXを開催することができました。今回は、普段の学校生活を見つめ直すために、葵中の生活信条である「あいさつ」「思いやり」「今が大切」について話し合いました。

今回は、特に「今が大切」に重点をおきました。「今が大切」とは、今は今しかない。今を有意義に過ごすために短い中学校生活を大切にすべきだと改めて気付くことができた。話し合いになりました。

これからも、生徒一人一人の意見を聞き、生徒みんなが学校をより良くしていきたいです。



# 最後の夏、いざ出陣 選手激励会・市長杯



## 今後の予定



- 八月  
二九日(火) 二期期始業式  
三〇日(水) 四時間授業、給食なし  
三一日(木) 弁当 委員会  
九月  
一日(金) 第一回岡崎学力検査(二年)  
給食開始  
実力テスト(一・三年)  
生徒議会  
六日(水) ひまわりP  
七日(木) 水泳新人戦 吹奏楽祭  
一〇日(日) 後期生徒会役員選挙  
一一日(月) 中間テスト  
一四日(木) 中間テスト 伊賀川P  
一五日(金) 委員会  
二〇日(水) 体育大会①  
二七日(水) 体育大会②  
三〇日(土)

## 表彰の記録



### 第八七回岡崎市総合体育大会

- 水泳  
男子一〇〇m平泳ぎ 優勝  
男子二〇〇m個人メドレー 三位  
女子一〇〇mバタフライ 優勝  
女子二〇〇m自由形 二位  
女子四×一〇〇mメドレーリレー 一位  
女子四×一〇〇mフリーリレー 三位  
通信陸上西三河予選会 二位  
一〇〇mH 二位  
西三河中学校選手権大会 三位  
一〇〇mH 三位  
通信陸上競技愛知県大会 八位  
男子一〇〇mH 八位  
※山崎さんは、全国標準記録を突破したため全国大会出場が決定しました。  
女子四種競技 八位  
中日コンクール西三河北地区大会 金賞 吹奏楽部

※市長杯の結果については、次号で報告いたします。

# 葵が丘



## 二年間の部活動

校務主任 大橋 貴広

この夏、教え子の結婚式に招待された。その中で、一言話してくださいと頼まれている。何を話そうか悩んでいる。その生徒は、以前赴任していた中学校でテニス部のキャプテンを務めていた生徒である。その代のテニス部は、団体で東海大会に出場することができた。残念ながら一回戦で負けてしまったが、部員の誰もが悔し涙で終わることにはなかった。大半の選手は試合の後、笑顔だった。当時選手だった子たちは、小学校時代パスケ、バレー、プラスバンドに合唱と、テニスを経験したことのない子たちばかりであった。楽しく勝つことをモットーに二年間やってきた。最後に、二年間が本当に楽しかったと言ってくれたことを今でも鮮明に覚えている。この代の生徒たちのとにかくすごいのは、練習を自主的に一生懸命やるのももちろん、主体的に練習に取り組んでいたことだ。自主性とは決まっていることを自ら進んで行うことで、目的の理解が大切になってくる。主体性とは自分の意志で考えて行うことで、じっくり考えることが大切になってくる。彼女たちは、特に自分たちのやりたいこと、伸ばしたいことを練習することができた生徒たちだった。だからこそ、ここまで行けたのではないだろうか。

二年前の夏、体験入部、仮入部期間を経て、それぞれの部活に入部した。その三年生の多くが、市長杯を終えて引退を迎えた。そして新しい代が始まる。どんな部活動になるのか毎年楽しみである。